

HADANO MEISUI ROTARY CLUB WEEKLY

例会場 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355
事務所 秦野市平沢 2550-1 秦野商工会議所内 TEL(0463)81-1355
例会日 毎週木曜日 12 時 30 分～13 時 30 分
会長 鈴木和夫 幹事 山谷洋子 会報・雑誌・IT 委員長 原恵美子



奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021 年～2022 年度国際ロータリー会長
シェカール・メータ

第 1757 回 2021 年 10 月 28 日 (木) 《週報》

秦野名水ロータリークラブ
秦野商工会議所 12:30
(ハイブリット)

1. 点 鐘
2. 合 唱 「手に手つないで」、四つのテスト
3. お客様の紹介
 - ・ 秦野市立図書館館長 ヤマモトヒデノリ 山本英範 様
 - ・ ヤバタマサコ 矢端雅子 様 (小田原 RC)
4. 会長の時間



○おめでとうございます。

2010 年 2011 年度、高橋幸雄さん・古谷スミ子さん
年度に交換留学生、派遣メンバーで秦野名水 RC から
カナダへ派遣されました、和田雄将君がいらっしゃいま
した。和田君が結婚され、お相手は同じく秦野 RC からの
交換留学生の佐藤さんと言う方で、ローテックスで知り
合い、結婚されました。現在和田君は長崎の方へ仕事の
関係でいらっしゃって、秦野名水 RC に是非お伺いしたいとのことでした。

- 先週 10 月 21 日にロータリー奉仕デーの第 1 回目の実行委員会が開催されました。
大屋ガバナー補佐からのご挨拶の中で、RI 会長の優先事項の一つに女子のエン
パワーメントに焦点を当てて取り組んでほしいというお話があったという事で、当グル
ープでは女子のエンパワーメントに焦点を当てた形のロータリー奉仕デーを実行
することで第 7 グループ委員会のメンバーに報告いたしました。3 月 6 日 (日) に
文化会館小ホールで、一般公開することで決定しました。その中で基調講演につい
て、元横浜市長 林文子さんをお願いしようという事で、10 月 26 日に、実行委員
長・副委員長・北村当メンバー・大屋ガバナー補佐の 4 名で元横浜市長林文子さん
に会いにゆきました。その時に素晴らしい取り組みだと絶賛されました。基調講演
を林元横浜市長をお願いをすることに決定いたしました。パネルディスカッション
形式で、講演の後に 5～6 名のパネラーをお願いすることに決まりました。
当クラブがホストクラブになりますので、皆様のご協力をお願いします。
○秦野市の親子川柳大会の締め切りが 9 月 20 日でした。今回 989 句の応募があり

ました。この中から優先作を選定して、10月13日に表彰式を行うとの連絡が来ております。今回は後援団体についての紹介記事をイオンショッピングセンター 始め、公民館などに掲示されるので、当クラブの紹介記事を幹事の方で準備いたしました。

○運が開ける名経営者のすごい言葉・・・第3弾

今や製造小売りアパレル業界において世界ベスト5に日本の企業が入っている。

世界第1位スペインのインデックス社、第2位スウェーデンのH&M、第3位日本のユニクロが入っている。第4位アメリカのGAP、第5位アメリカのLブランズ、と言うメーカーが入っている。今日はファーストリテイリングの会長兼社長柳井正さんの名言をご紹介しますと思います。

○結果的に安定成長はあり得るが、最初から安定成長を望んではいけぬ。

苦勞しながら伸びるのが成長、ブームに乗るのは単なる膨張である。

挑戦は、危機に陥って始めるよりも、危機感を持った段階でスタートするのが何倍も効果的だ。ユニクロ（会社名ファーストリテイリング）柳井正がそうである。ジャスコ（現イオン）勤務を経て父親が経営する山口県の小郡商事に入社した二代目だがユニクロを一代で作り上げた創業者である。

ユニクロは、1990年代後半のフリースブームによって一気に売上1000億円を超えて以後倍々ゲームの成長を遂げる。だが、2002年8月期の決算では上場後初めて減収減益を経験している。「ユニクロ商法の限界」と書き立てる報道もあったが、柳井は「成長より膨張」の時期が終わり、これからは正常な商売ができると内心ほっとしたと話している。ブームの中では、棚に並べたそばから何の苦勞もなく売れていく。社員の感覚がマヒすることを柳井は心配していたのだ。フリースブームでユニクロの知名度が全国区となった中、柳井は2002年に社長の座を40歳の玉塚元一に譲っている。柳井自身はまだ53歳と若かったが、社長を譲ることは既定路線だった。柳井は店舗を玉塚に任せ、自らはM&Aなどによるグローバルな展開に挑戦したいと考えていたのだ。だが、新体制は長くは続かず、2005年に柳井は社長に復帰した。理由は、堅実で安定を求める玉塚のやり方に危機感を覚えたからだ。

○まず挑戦せよ ヒットは失敗から生まれる。

柳井は、会社も個人も成長しなければ死んでも同然であり、積極的な挑戦が企業の生命線だと考えていた。もちろん挑戦には失敗もある。野菜事業などいくつもの失敗をしてきた。しかし、失敗だと気づいたら素直に認め、撤退か変更すればいい。最も怖いのは最初から安定を望むことである。それでは成長などおぼつかない。

柳井は世界を見ていた。米国最大の製造小売業GAPやスウェーデンのH&Mと言ったグローバル企業との戦いに勝つためには、果敢に成長することが大切だと考えた。2005年、柳井は「即断、即決、即実行」がモットーの第二創業宣言を発した。そして、2011年、ニューヨーク5番街にメガストアーを出店、グローバルブランドを目指して発展を続けている。同じグローバル企業のトヨタも「健全なる危機感」という言葉をよく使っていた。追い込まれてからでは遅すぎる。やれることは限られているからだ。順調な時に課題の改善に努めるの健全なる危機感だ。

※リーダーズ・アドバイス

「結果的に安定成長はあり得るが、最初から安定成長を望んではいけぬ」

と柳井は言っている。危機感を持ってチャレンジしてこそ安定を手にする。

5. 幹事報告

【ガバナー事務所より】

- ①【第2780地区ローターアクト】RA地区大会開催のご案内
- ②＜再依頼＞My Rotary 登録状況アンケートご協力をお願い
- ③新会員の集い（日帰りバス旅行）11月27日開催
- ④地区危機管理セミナー ご案内（延期後再案内）
- ⑤秦野市教育委員会第12回秦野市親子川柳大会表彰式の開催

【例会変更】

【本日の配布物】

①ロータリーの友 11 月号

6. 記念日

- ・会社創業記念日 桐山さん (11/1)、古谷さん (11/1)
- ・入会記念日
- ・御結婚記念日
- ・御誕生記念日 (会 員) 桐山さん (10/30)
(配偶者)



7. スマイル報告

- 鈴木和夫さん「市立図書館長 山本英範様おいで頂きましてありがとうございます。山本様のお話、たのしみにしております。」
- 山谷洋子さん「秦野市立図書館長 山本英範様ようこそおいで下さいました。本日はどうぞ宜しくお願い致します。」
- 北村まり子さん「秦野市立図書館長 山本英範様、本日はよろしく申し上げます。」
- 古谷スミ子さん「創業記念のお祝い有難うございます。創業48年になり、ラストランに入っております。」
- 大屋富茂さん「山本秦野市立図書館長様 本日の卓話よろしくお願い申し上げます。10/24 (ポリオサミット) の様子が2780地区フェイスブックにて配信されて居ります。是非ご覧下さい。」
- 神崎達朗さん「秦野市立図書館 館長 山本英範様 本日の卓話よろしくお願い致します。楽しみにしております。」
- 原恵美子さん「火曜日 伊勢原平成RCにメイクアップに行ってみりました。たまには他クラブを訪れるのも良いものですね。もう一度メイクアップしなければならないので、次はどこにしようか思案中です。スマイルします。」
- 原郁夫さん「先日平成ロータリーへメイクアップに行ったら足立さんから、名水の看板すごいですねとほめられました。」
- 原郁夫さん「毎日奥さんに箱根へ連れて行ってもらっています。」
- 東島礼美さん「ぎりぎりまにあいました。スマイルいたします。」
- 淵脇美代子さん「先日、久しぶりに出かけました。山梨県南アルプス市の広河原と言う所です。標高1592m、新雪の北岳（日本で2番目に高い山 3193m）がクッキリと見え、とても素晴らしかったです。（ドライブです）」
- 諸星利男さん「天高くすがすがしい候となりました。スマイルします。」
- 諸星道治さん「秦野市立図書館館長 山本様ようこそ名水ロータリークラブへ、今日の卓話楽しみにしています。小田原ロータリークラブ矢端さん毎回の参加有難うございます。」

合計 42,000 円

8. 出席報告

- 会員数 16 名、出席義務 16 名、出席数 14 名、出席率 87.5%
- zoom 参加 矢端様 山本さん

9. 地区委員会報告

10. 委員会及びその他の報告

- クラブ研修委員会 神崎委員長
新会員の研修会が行われていませんでした。
新会員の研修会並びに歓送迎会を行いたいと思います。
日時 11月25日(木) 17:00から
場所 チャイナガーデン
・11月の理事会で決定されると思いますので、改めて発表いたします。

○親睦活動委員会 原委員長



- ・研修委員会神崎委員長から、発表がありました。
来週の理事会を通して頂くんですが、会長から歓送迎会の計画をとのことで、研修会は、16:00から、懇親会は17:00からです。
- ・ロータリー財団委員会から
11月は財団月間になります。財団の寄付はドル立てで地区からの要請は200ドル、当クラブとしては¥25,000以上をお願いします。

ベネファクター1000ドルもご協力をよろしくお願いいたします。

○国際奉仕委員会 諸星道委員長

- ・外国コイン募金箱の件

そろそろ2回目の回収をしたらと思います。
場所によっては、満タンに近い場所もあります
見ていない場所もあると思います。
第2回目もタウンニュース社に来ていただき
第1回目の金額を市民の皆さんに報告したいと
思います。



○酒井さんからのお話

皆さんに大事なご報告です。

2年間協同病院で抗がん剤を打って、なかなかガンが治らなかったんですが、
今月の前半と中盤で、だいぶおちまして先生がもう来なくていいよと言われました。
ありがとうございました。皆さんと元気よく活動します。
宜しくお願いします。

11. 卓話 秦野市立図書館館長 山本英範様



○ブックスタートについて

「ブックスタート」ですが、どういう内容のものは、
すでにご存知の方も多いかと思いますが、改めて申し上げますと、ブックスタートは絵本をきっかけに、
赤ちゃん和家人のふれあいを応援する取り組みです。
ゼロ歳児検診などの機会に、絵本を開く楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。

ブックスタートの歴史は、そんなに古くなく、1992年、それでも今からおよそ30年前になりますが、1992年にイギリスのバーミンガムという都市で始まりました。発案したのは絵本コンサルタントと言うお仕事をしていた「ウェンディー・クーリング」という女性の方で、このウェンディーさんが、ある日の小学校での活動中に、絵本の存在自体を知らない5歳の男の子と出会ったそうで、そのことが、ブックスタート誕生のきっかけとなりました。この予想外の出来事を受け止めたウェンディーさんは、すべての子供達に、絵本を読んでもらう幸せなひとときを経験してほしい、そのためにはなにができるだろうと考えたそうです。そして、思いついたのが、絵本そのものを、読み聞かせの体験と一緒に、赤ちゃん全員にプレゼントするというアイデアでした。プレゼントする会場は、このアイデアを聞いた保健師の方のアドバイスを受け、地域に住む赤ちゃん全員が対象となる「検診」の場にすることを決定。こうして「ブックスタート」はバーミンガム市の事業として始まりしました。ブックスタートが始まった当時のキャッチフレーズは、もちろん英語になりますが、「Share books with your Baby!」。日本語に直訳すると「赤ちゃんに絵本をシェアしよう!」となります。では、なぜread books（絵本を読む）ではなく、share books（絵本を共有する）

- ・分かち合う) なののでしょうか?その理由について、先ほどご紹介した絵本コンサルタントのウェンディー・クーリングさんは、「read books というとお話の内容を楽しんだり、新しい知識を得たりといったイメージがあるけれど赤ちゃんのための絵本の楽しみは、それとはまったく別の体験。だから、read Books ではなく、share books といっているのよ。」と説明しています。

そして、「赤ちゃんに絵本がわかるのでしょうか?」と質問されると、ウェンディーさんはその人に寄り添い、目の前で絵本を開き、まるで赤ちゃんに語りかけるように、微笑みかけたり、絵本を指で差したりしながら、優しく読み始めました。それは、絵本の内容がわかるかどうかという以前に、そばにいる人に絵本を読んでもらう嬉しさや心地よさを、体感させるものだったのでした。ウェンディーさんが伝えてくれたように、絵本は読む人の愛情を、かたりかける言葉で赤ちゃんに届けます。そのあたたかいひとときは、大人にとっても、心安らぐ子育ての時間になります。赤ちゃんとその周りの人が、一緒に絵本を開いて心を通わせる、このコミュニケーションこそが「シェアブックス」の意味となります。そして、このコンセプトが、多くの人の共感を呼び、その後、活動はイギリス全土に広がりました。

日本ではどうだったかと言うと、日本でブックスタートが知られるようになったのは、2000年です。この2000年は「子ども読書年」という年に位置付けられた年だったのですが、この年、子ども読書推進会議、これは子どもの読書に関わる約280の団体・企業・個人で構成されていた組織ですが、この会合で、イギリスではじまったブックスタートの活動が紹介され、推進会議の中にブックスタート室という部署ができ、約200組の親子を対象に試験的に実施されました。そして、その様子がさまざまなメディアで紹介され全国にその情報が届くと、いくつかの自治体が検討をはじめ、2001年に12の市町村が新規事業として開始しました。秦野市では、2008年12月から始めました。秦野市図書館が行っているブックスタートの具体的な内容ですが、保健福祉センターで毎月2回行っている7か月児健康診査に合わせて実施しています。また、絵本をプレゼントするだけでなく、ボランティアグループに協力を頂きひと組ずつの赤ちゃんと保護者に声をかけて「読み聞かせ」ということを行なっています。残念ながら、新型コロナウイルスの影響で、緊急事態宣言が出された今年の3月からは検診自体が停止となりましたのでブックスタートもできなくなりその後6月に検診は再開されましたが、読み聞かせはできないという状況が今も続いています。それでも、図書館の職員が会場にお伺いし検診に来ている保護者の方に声をかけ、ブックスタート関することが書かれている冊子やおすすめ絵本リストなどを手渡し、6種類ある絵本の中から1冊プレゼントしています。

6種類の絵本ですが

- ①『まねっこおやこ』 ②『がたん ごとん がたん ごとん』
- ③『ぶーぶーぶー』 ④『ととけっこう』
- ⑤『くだもの』 ⑥『どうぶつのおかあさん』

○ブックスタートの大切な5つのポイント

- ・1つ目 目的

赤ちゃんと保護者が、絵本うい介してころふれあうひとときを持つきっかけを作るを目的としています。

- ・2つ目 対象

保護者の中には、絵本に関心がある方も、そうでない方もいらっしゃると思いますが、ブックスタートは、赤ちゃんの生まれた環境にかかわらず、全員を対象としています。本市では7か月の赤ちゃんを対象としています。

- ・3つ目 ブックススタートを行う機会
本市では、保健福祉センターで毎月2回行われている、7か月児の集団検診の際に実施しています。
 - ・4つ目 方法
ただ絵本を配るのではなく、ひと組ずつ赤ちゃんと保護者に、絵本を開く時間の楽しさをその場で体験してもらいます。実際の体験と絵本そのもののプレゼントは、家庭でも親子が絵本をひらくなによりのきっかけになると考えています。
 - ・5つ目 ブックススタートを行う体制
特定の個人や団体の宣伝・営利・政治活動が目的ではありません。行政はもとより、それ以外にさまざまな分野の人たちが連携して実施しています。秦野名水ロータリークラブ様も入っています。絵本の購入費などに充てさせていただいております。
- 現在、少子・超高齢社会と言われており、ブックススタートの対象となる赤ちゃんの数も以前にくらべてだいぶ少なくなりました。2009年から2010年がもっとも多く1,300名、その後は徐々に減少を続けて、2018年では、年間約900名となっています。また、子どもの読書離れも近年心配されていることのひとつに挙げられています。
- このような事業に、皆さまのご支援をいただき、本当に感謝しております。図書館は多くの市民の生涯学習の拠点であります。これからも利用者に愛される図書館を目指して、職員一同取り組んでいきたいと思っております。10月27日から来月9日までの14日間は「読書週間」となっています。図書館ではこの期間に合わせて様々な催しを行っています。その一つに「読書マラソン」という企画を今回初めて行うのですが、図書館の建物ができてから36年目を迎え、その36年にちなみまして11月1日から12月31日までの2か月間に図書館所蔵の本を36冊読んだ方に紙製の文庫本用のブックカバー2種類をプレゼントします。
- これからも引き続きご支援とご協力をお願いいたします。

